

# ロボット実装促進センター

## 「ロボットを中心としたデジタルのチカラ～店舗・施設の業務効率化、生産性の向上（２）商業施設におけるロボット活用～」セミナーの開催報告

ロボット実装促進センターでは、2023年8月18日に「ロボットを中心としたデジタルのチカラ～店舗・施設の業務効率化、生産性の向上（２）商業施設におけるロボット活用～」というセミナーを開催いたしました。以下では、事例紹介をいただいたアリオ橋本支配人の野尻様のご講演内容を中心にセミナーの開催報告をいたします。

### ご講演タイトル：「アリオ橋本「ロボットが活躍する商業施設へ」

商業施設を取り巻く環境は、人口減少に伴うマーケットの縮小や、少子高齢化による働き手不足、コロナ禍で加速したネット販売の拡大などにより厳しいものとなっています。こうした背景を踏まえ、アリオ橋本では、ライフラインとしてのショッピングセンターの持続性を担保し、業務の効率化・感染症対策を行うとともに、商業施設としてのエンタテインメント性や子どもたちへの先端技術への体験機会を提供することを目的として、令和4年度新型コロナウイルス感染症対策ロボット実装事業を通じ、ロボットの試験導入に取り組みされました。ご講演では、試験導入に向けた経緯に加え、施設概要や実際に試験導入したロボットの紹介をいただきました。

施設の課題・ニーズ	導入したロボット	ロボットの試験導入でわかったこと
飲料・米など200kgを超える重量のある商品の運搬作業が従業員の負担となっていた	品出し、陳列支援を行う自律走行型の搬送ロボット	日中の業務と同時にロボットによる品出し等を実施することは難しいことが明らかとなった。一方、閉店後の夜間に、計画的に無人でロボットが商品運搬を行うように工夫すれば、品出し作業の改善効果が期待できるという示唆が得られた。
広大な館内にインフォメーションカウンターが1箇所しかなく、案内が行き届かない場面があった	自律走行で誘導する館内案内ロボット	オープンから12年が経過しているため、来訪者は基本的な施設情報は把握しており案内ニーズが低いことが明らかになった。一方、施設内の催事情報等を伝えるために動く巡回案内ロボットによる広告・広報機能にはニーズがあることが確認できた。
フードコートでは、注文した料理をお客様が自らテーブルまで運んでおり、特に、子ども連れの方などには負担があった	飲食商品の館内お届け支援ロボット	お客様が行き来するフードコートでも、安全にロボットが配膳・運搬できることが確認できた。お客様が着席するテーブルを認識させた上で、配膳や下膳ができれば、より大きな効果が期待できることも確認できた。

### 今後の展望

商業施設は地域の人々の暮らしにとってなくてはならないインフラであり、生活の必需品から生活を彩るコト体験できる場でもあるとの思いから、働く人、お客さま、地域で活動する方にとって「便利になる」「安心する」「安全になる」「豊かな気持ちにさせてくれる」ようなロボットの導入を引き続き検討し、アリオ橋本に来れば、いろいろなロボットに会うことができる“拠点”として認知してもらえようしていきたい、とのコメントをいただきました。なお、アリオ橋本は、2023年度も導入実証を実施する施設に採択されました。

#### <試験導入したロボットのご紹介>

アリオ橋本「ロボットへの想い」

課題解決 と 未来の商業施設として  
ロボット実装を目指す本事業に応募

イトーヨーカドー(品出し支援、カゴ/カート運搬)  
モール (アattend、案内、配膳、清掃)

テーマ	品出し、陳列支援	買い物カゴ/カート回収運搬支援	介助が必要なお客様のアattend	案内(館内)	飲食食品館内お届け	清掃
ロボット等企業	シーオス(株)	協栄産業(株)	日信電子サービス(株)	(株)マクニカ	(株)エリアカザン	アマノ(株)
ロボット等	3D SLAM式自律型搬送ロボット(Laser Mover) (Tugbot)	自律搬送ロボット/サウザーミニスマートマット	Garoo N5Setdion	terro	館内ロボット配膳支援システム	Eurobot

Copyright ©2023 Seven & i Create USA Co. Ltd. All Rights Reserved.

#### <ご講演の様子>

アリオのSDGs活動 紹介「みらいとうん」

ロボットが  
人々の生活をより便利に  
さらに豊かに  
持続可能な生活への科学のチカラになる

アリオ橋本は  
人々が生きる活力に満ちた場所を目指し  
交流拠点の役割を担っていきたい

「コレ、ぜひ体験してください」

Copyright ©2023 Seven & i Create USA Co. Ltd. All Rights Reserved.

ロボット実装促進センター（受託事業者：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

【電話番号】03-6228-1430（10時～17時 月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く））